

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品点検分解 組立調整検査 1	矢野 史門	3	18	前期	必修
授業の概要	灯火装置の構造、作動、整備作業を実物の点検、分解、調整を通して学ぶ。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	灯火装置の分解、組み立てで構造を理解し、各点検、作業要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 3	灯火装置	灯火装置の点検方法について理解する。				
4 ～ 8	灯火装置	灯火装置の故障探究法について理解し、整備できるようになる。				
9 ～ 11	パワーウィンドウ	パワーウィンドウの構造と点検法を理解する。				
12 ～ 15	パワーウィンドウ	実車でパワーウィンドウのシステム点検を行い、整備できるようになる。				
16 ～ 18	実技試験					
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書: 日本自動車整備振興会連合会 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ その他各種資料					
アドバイス	実際の部品等で知識を確認することができます。しっかりと技術を習得して実践に繋げられるよう取り組みましょう。					

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品点検分解 組立調整検査 2	矢野 史門	3	18	前期	必修
授業の概要	ワイパーやメーター類の構造、作動、整備作業を実物の点検、分解、調整を通して学ぶ。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	ワイパーやメーター類の分解、組み立てで構造を理解し、各点検、作業要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 3	シャシ電装	ワイパーモータ、スピードメータ等各種計器類の概要について理解する。				
4 ～ 9	シャシ電装	ワイパーモータ、スピードメータ等各種計器類の分解・組み立てを通して、構造を理解する。				
10 ～ 15	シャシ電装	ワイパーモータ、スピードメータ等各種計器類の故障探究法について理解し、整備できるようになる。				
16 ～ 18	実技試験					
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書: 日本自動車整備振興会連合会 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ その他各種資料					
アドバイス	実際の部品等で知識を確認することができます。しっかりと技術を習得して実践に繋げられるよう取り組みましょう。					

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品点検分解 組立調整検査 3	矢野 史門	3	21	後期	必修
授業の概要	カーエアコンの構造、作動、整備作業を実物の点検、分解、調整を通して学ぶ。					
授業の進め方	各内容説明後、実作業を行う。					
到達目標	カーエアコンの分解、組み立てで構造を理解し、各点検、作業要領を理解して実践に繋げる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 3	エアコン	エアコンの構造について理解する。				
4 ～ 12	エアコン	エアコンの点検方法について理解し、整備できるようになる。				
13 ～ 18	エアコン	エアコンの冷媒抜き替え方法について理解し、作業できるようになる。				
19 ～ 21	実技試験					
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	教科書: 日本自動車整備振興会連合会 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車・二級自動車シャシ その他各種資料					
アドバイス	実際の部品等で知識を確認することができます。しっかりと技術を習得して実践に繋げられるよう取り組みましょう。					

区分	科目名	担当教員	学年	時数	時期	種別
実習	電装品点検 分解組立調整検査 4	全教員	3	41	通年	必修
授業の概要	実動車を使用し、電装部品等の点検・分解・組立・調整・検査を行う。					
授業の進め方	各班ローテーションにて、教習車や教材車の点検整備等を行い、必要に応じた整備作業を実施する。					
到達目標	就職後の企業にて即戦力として働けるようになる。					
講義内容						
時間	項目	目標				
1 ～ 38	応用点検実習	<p>様々な教材車を使用し、実動車の点検・整備ができるようになるための実習を行う。</p> <p>自動車学校にて実動している様々な教習車の点検等を実施し、消耗品や不具合部品の発見を行う。</p> <p>必要に応じて部品の交換・調整を行い、安全に走行できる状態へと修復する。</p> <p>必要に応じて車両の検査を行い、安全に走行できる状態であることを確認する。</p>				
39 ～ 41	実技試験					
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)					
教科書・配布物	必要に応じた資料を配布する。					
アドバイス	就職して即戦力となるように努力してください。また、安全作業を徹底し正しい作業方法を身につけてください。					